



## 泳力の向上に効果的な手立てが求められる！

学年	調査項目	平成 30年度	令和 元年度	学年	調査項目(新)	令和 2年度	
1年	ふしうき	85.7%	80.1%	1年	ふしうき	78.0%	
					バブリング	86.5%	
2年				2年	ふしうき	86.4%	
	けのびからのバタ足5m	80.4%	74.5%		ポビング	88.5%	
3年				3年	けのび	75.9%	
	面クロール 10m	57.9%	61.1%		面かぶりクロール 10m	72.2%	△ 11.1%
	かえる足	41.4%	44.0%	かえる足	34.4%	▼ 9.6%	
4年	クロール25m	55.2%	51.4%	4年	けのびクロール 15m	66.9%	
	平泳ぎ25m	38.6%	35.1%		けのび平泳ぎ 10m	44.1%	
5年	クロール25m	78.6%	72.4%	5年	クロール 25m	68.0%	
	平泳ぎ25m	59.1%	52.8%		平泳ぎ 25m	49.4%	
				背浮き 10秒	87.7%		
				5分間回泳	55.0%		
6年				6年	クロール 25m	80.4%	
	クロール50m	83.6%	80.5%		クロール 50m	57.2%	▼ 23.3%
				平泳ぎ 25m	63.6%		
	平泳ぎ50m	72.2%	68.6%	平泳ぎ 50m	53.8%	▼ 14.8%	
	背泳ぎ25m	70.3%	70.0%	背浮き 20秒	80.5%		
				10分間回泳	66.1%		
	30分間回泳	75.1%	71.3%	30分間回泳	61.1%	▼ 10.2%	

○ 3年生の面かぶりクロールは、昨年度に引き続き向上している。

● 5・6年生のクロール、平泳ぎにおいて顕著な低下が見られ、特に6年生の50mクロールが23.3%も低下している。

今年度は感染症対策も行われる中、泳力調査への御協力ありがとうございました。3年生の面かぶりクロールが向上している理由に、低学年での「浮くこと」の指導が大切にされていることが挙げられます。しかし、高学年では、著しく数値が低下しており、地区水泳競技大会が終了したことによる練習時間やモチベーションの低下が原因として考えられます。浮くことができるようになった先の「浮いて進む動き（手と足の動きに呼吸を合わせるなどの基本的な技能）」を効果的に身に付けることが今後の課題です。ぜひ、命を守る指導と並行しながら、泳力を確実に積み上げる指導を効果的に行っていきたいですね。

### <泳力向上につながった各校の指導法紹介>

- ・習熟度別コースを設定し、泳力に合った練習をしたことで、短時間で効果が表れた。（青城）
- ・学年で記録会を行ったところ、意欲が高まり、練習に励む児童が増えた。（東部・岩田）
- ・各学年の調査項目を入れた水泳カードを作成したことで、教師の指導内容が明確になり、子どもの意欲が高まった。（豊岡北・豊浜）
- ・学年で合同の体育を実施したり、一学級に複数教員で指導を行ったりしたことで、きめ細やかな指導につながった。（豊岡南）